



「志賀日赤病院」の存続・充実を

署名12151筆提出 三日月知事「厚労省に伝える」

5月29日、大津赤十字志賀病院の周辺住民のみなさんでつくる「志賀日赤を守る会」が、病院の存続・拡充を求める要請署名1万2151人分を三日月大造知事に提出。節木三千代県議、岸本典子市議が同席しました。



三日月知事に署名を提出する「守る会」のみなさん

参加した会のみなさんは、「小児科は今後も継続してほしい」「泌尿器科もつくてほしい」と要望。同病院に勤務する看護師は、病院の存続を心配する患者の声を伝え、「コロナ対策のため、玄関で熱を測り、消毒する患者さんから『がんばってほしい』と励ましをいただいている」と話しました。

昨年9月厚生労働省は「病床削減」を掲げ、424の公立公的病院を名指して統合・再編の議論を促し、志賀日赤病院も対象になっていました。「新型コロナ」で病床不足が逼迫するなか、今年9月としていた結論を先送りしましたが、撤回すべきです。1000床もの病床削減の「滋賀県地域医療構想」も、見直すべきです。引き続き、安心できる医療体制へ、引き続き皆さんと力を合わせます。

三日月知事は、「大津圏域の地域医療構想調整会議で『再編統合は行わない』という結論で合意された。妥当な結果だと受け止めており、厚生労働省に伝えていきたい」と表明しました。またコロナ対応で医療機関の重要性を痛感したとして、「今回の教訓を今後の体制づくりにいかしていきたい」と述べました。

門東美知子共同代表は、自治会の回覧板でも署名用紙がまわされたことを紹介し、「なくてはならない病院だということが明らかになりました」と述べました。



三日月知事に訴えるふしき県議

学校給食 子どもたちの笑顔が見たいから パン・牛乳の加工業者を訪問

おいしい!
ありがとう



休校による給食停止の損失は補償を

新型コロナウイルス感染症拡大で、県内の小・中学校、高校、特別支援学校が3月から3か月間休校。学校給食も停止になり、パンや牛乳などを納入している業者は大きな損害を受けました。

ふしき県議は滋賀県学校給食会が委託してパンを加工する西洋軒（大津市）、ポコアポコ（長浜市）や、県畜産課があっせんして給食用牛乳を提供する毎日



牛乳（大津市）、田中牧場（東近江市）を訪れ、関係者から話を聞きました。訪れた「ポコアポコ」の店内は子どもたちの感謝のメッセージが貼り出されていました。辻井孝裕社長は「遠方までの配達採算が合いませんが、子どもたちのメッセージがあるから」と。今後県内産小麦100%（現在20%）で安全でおいしいパンを届けたいと話されます。各事業所の3.4.5月の売上減は、1ヶ月数百万～1千万円にも。3月は国が8割交付金で補てんをしましたが、4.5月はありません。4.5月の県立学校の休校は知事が決めて、市町に連絡。小中学校の休校も同様に行われました。県の責任は重大です。広域で供給されている食材だからこそ、県として市町と協力し、損失補償をすることを強く求めます。

6月議会の日程をお知らせします。

- 6月24日（水）開会
- 29日（月）代表質問
- 7月2日（木）～7日（火）一般質問
- 9日（木）10日（金）各常任委員会
- 14日（火）特別委員会
- 16日（木）閉会

請願書の締切 6月30日（火）正午です

「新型コロナウイルス感染拡大防止臨時支援金」の締切(6月26日)が迫っています。(飲食店・居酒屋・学習塾・そろばん塾・エステサロン・スタジオ付き写真館など4月25日から5月6日まで時短、休止など休業要請されていた業種)県コールセンター ☎ 528-1344

生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3～5時まで

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2020年6月16日 発行：ふしきみちよ事務所

大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334

メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ

<http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索